

政務活動費活動報告（研修）

(1) 研修名：第9回地方議会議員研修会

(2) 参加者：田中 滋康（市民の会）

研修会には80都市から388名が参加

(3) 日時・場所：平成25年11月1日 13時～16時40分

都市センターホールホテル3階「コスモスホール」

（東京都千代田区平河町2-4-1）

【1. 研修目的】

全国自治体病院経営都市議会協議会は病院経営の健全化を図り、地域医療政策に関するセミナーを開催している。彦根市立病院における産婦人科を始め各科の医師・看護師不足の打開策を得ることを目的に、2人の講師の演題（「医師不足・偏在問題を始め、地域における医療現場の実態について」）を聞きたいと思って参加した。

【2. 結果報告】

(1) 内容

主催者代表挨拶 全国自治体病院経営都市議会

会長 田中修一（町田市議会議長）

講演「社会環境の変化を捉えた病院建設と運営

～全室個室が意味するもの～」

荒木信生（長崎県済生会病院元事務長）

講演「地域医療と自治体病院」

阿波谷敏英（高知大学医学部医学科家庭医療学講座教授）

(2) 考察

済生会の使命は、生活困窮のために医療を受けることができない人に対し、薬を与え、医療を施して生命を救うこと（施薬救療）を根幹事業とすることである。これを平成25年度からの済生会病院中期事業計画の中でも推進していることは、自治体病院と云えども、経営効率最優先にして改革プランの策定を自治体に求めている国の動向からは信じられない思いであった。また、新病院建設に際し、全病室が個室化され、患者急変時の対応のし易さや、感染防止に有利なことなど、医療上のメリットとともに、患者本位の考え方をしていることは特筆すべきである。医師・看護師とも大幅な増員に成功した秘訣は、魅力ある待遇、魅力ある施設であることをアピールすることは当然であるが、それ以上に、夢を、熱意をもって語ることが肝要である。

地域医療の崩壊は、医局による医師派遣システムが瓦解したことによる。また、本当に地域で働き、地域に貢献する医師を大学で養成してきたのかという疑問を投げ、自分の講座の地域医療教育の現状に触れられた。総合医を養成し、地域医療を支える取り組みが実るのを待つばかり。

病院経営については、医療器材の値引きが定価の9割引が当たり前という具体的な話には説得力があり、予算審査をする上で今後の参考になった有意義な1日であった。